

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和元年度実施実績及び令和2年度実施実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和元年度			令和2年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
1	競技大会	全世代	とまこまいマラソン大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	とまこまいマラソンを開催する。	10月13日（日）に緑ヶ丘公園陸上競技場で2.5km、3km、5km、10kmの4種目とスポーツ体験アトラクションを実施し、1,078名の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
2	競技大会	全世代	市民スポーツ祭の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	バドミントン、卓球、ソフトテニス、スポンジテニス、ミニバレー、フロアカーリング、パークゴルフの7競技の市民大会を開催し、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりを図る。	7競技を開催し、H30年度を27人上回る1,401名の参加があった。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・H29年度より苫小牧市体育協会へ移管	同内容で継続実施
3	競技大会	子ども	中学駅伝苫小牧大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	中学駅伝苫小牧大会を開催し、中学生の健全育成とスポーツ振興を図る。	7月15日（月）に開催し、H30年度を9チーム67名下回る25チーム191名の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	なし（事業終了のため）
4	競技大会	子ども	国際少年アイスホッケー中学生交流会	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・トヨタ自動車北海道（株）と協力し事業実施	3月下旬に苫小牧選手団がカナダを訪問予定
5	競技大会	子ども	小学生低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	小学校低学年（1～4年生）のアイスホッケー大会を開催し、アイスホッケーの楽しさ・面白さを子ども達に伝え普及を図る。	12月7日（土）、8日（日）、15日（日）に開催し、H30年度を1人下回る102人の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・H29年度より苫小牧市スポーツ協会へ移管	同内容で継続実施
6	イベント・教室	全世代	ウォーキング事業の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	年5回のウォーキングスタンプラリーを開催し、自然あふれるウォーキングコースを歩くことで美しい街並みを再確認し、郷土愛を深めながら健康づくりと体力づくりを行う。	6月から9月まで月1回のウォーキングスタンプラリーと10月にウォーキングフェスティバルを開催し、H30年度を312名上回る881名の参加があった。また、第1回目は「みんなで健康大作戦」とコラボして謎解きウォーキングを実施したほか、中心商店街の協力で参加者におもてなしを行った。 ・6/29（土） 215名 中心市街地 ・7/27（土） 139名 日新小周辺 ・8/31（土） 160名 ウトナイ小道周辺 ・9/28（土） 144名 苫小牧駒澤大学周辺 ・10/14（月・祝） 223名 金太郎の池周辺	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力 ・健康支援課とも連携	・8月1日から10月31日（土）まで各自でコースを設定し行うウォーキングスタンプラリーを実施 ・10月24日（土）にウォーキングフェスティバルを金太郎の池で実施予定
7	イベント・教室	全世代	八地区スポーツフェスティバルへの支援	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。	八地区（錦岡、糸井、中央西、中央南、中央北、中央東、沼ノ端、勇払）で開催するスポーツフェスティバルを実施した。	A (順調に実施)		同内容で実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部地域で中止）
8	イベント・教室	全世代	指定管理者の自主事業の充実	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	市民の心身の健全な発達及び普及振興を図ること、及びスポーツ施設の利用率向上を目的とした指定管理者が実施する事業。	12施設168,835名の参加となっている。	A (順調に実施)		各スポーツ施設において子どもから高齢者までを対象とした事業を予定
9 (新)	イベント・教室	全世代	みんなでラジオ体操&謎解きウォーキングの開催	健康こども部健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧ラジオ体操連盟の指導の下、ラジオ体操を実施。ラジオ体操後は、市中心部を回る「謎解きウォーキング」を実施。食育推進月間中の6月29日に開催したため、チェックポイントで食育クイズを出題し、食育について理解を深めてもらった。	6月29日（土）に開催し、市民約600人の参加があった。	A (順調に実施)	・ウォーキングスタンプラリーと連携（令和元年度第1回という位置づけ）	なし（単年度事業のため）
10 (新)	イベント・教室	全世代	みんなでラジオ体操inイオンモール苫小牧の開催	健康こども部健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	イオンモール苫小牧内でラジオ体操を開催。ラジオ体操後は、大作戦クイズを解きながら、店内ウォーキングを実施し、市民の冬場の運動不足解消を図る。	11月16日（土）、12月4日（水）、1月17日（金）、2月2日（日）に開催した。	A (順調に実施)		なし（単年度事業のため）

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和元年度実施実績及び令和2年度実施実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内 容	令和元年度			令和2年度
								実施実績	事業評価	備 考	実施実績・予定
11 (新)	イベント ・教室	全世代	2020東京オリンピック・パラリンピック開催事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	2020東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、聖火リレーの実施と本市出身の出場者を応援するパブリックビューイングを開催する。	R2年度新規事業			令和3年度へ延期（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
12	イベント ・教室	障がい者	フライングディスク教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道フライングディスク連盟の加賀洋一氏を講師としてお迎えし、フライングディスク教室を開催する。	6月15日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めH30年度を1名下回る43名が参加した。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
13	イベント ・教室	障がい者	ボッチャ教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	北海道ボッチャ協会理事長の樋口幸治氏を講師としてお迎えし、ボッチャ教室を開催する。	7月20日（土）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めてH30年度を10名下回る39名が参加した。	B (概ね順調に実施)	・福祉部とも連携	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
14	イベント ・教室	障がい者	車椅子バスケット教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧WBCの野本孝紀氏と松村和臣氏を講師としてお迎えし、車椅子バスケットボール教室を開催する。	2月22日（日）に福祉ふれあいセンターで開催し、健常者も含めてH30年度を2名上回る28名が参加した。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	1～3月に同内容で実施予定
15	イベント ・教室	障がい者	パラアイスホッケー教室	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	日本代表の須藤悟氏と廣瀬進氏を講師としてお迎えし、パラアイスホッケー教室を開催する。	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）	D (未実施)	・福祉部とも連携	1～3月に同内容で実施予定
16 (新)	イベント ・教室	障がい者	パラスポーツ体験会	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、パラスポーツの体験を通じ、市民へのパラスポーツの周知・振興と障がい者の社会への参加につなげていく。	11月10日（日）に総合体育館で、車いすバスケットボール、ボッチャ、フライングディスク、パラ陸上、サウンドテーブルテニスの競技体験会を実施し、102名の参加があった。	A (順調に実施)	・福祉部とも連携	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
17	イベント ・教室	高校生	全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。	7月30日（火）から8月4日（日）まで開催し、H30年度を1チーム23人下回る、全国27チーム692人が参加した。	A (順調に実施)		中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
18	イベント ・教室	子ども	ジュニアスポーツクラブ支援事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる「場」を地域につくり、定着させることを支援する。	・4月7日（日）に緑ヶ丘公園サッカー場リニューアルオープンと併せて元コンサドーレ札幌主将の河合竜二氏のサッカー教室を開催し、85人の参加があった。 ・7月21日（日）に緑ヶ丘公園陸上競技場で陸上選手の島田沙絵氏の陸上教室を開催し、32人の参加があった。	A (順調に実施)	・セガサミーホールディングス（株）と協力し、ジュニアスポーツ教室を開催	バドミントン競技を予定していたが、中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
19	イベント ・教室	子ども	スポーツマスター事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツの分野において輝かしい活躍をしたスポーツマスターによる教室を実施し、市民スポーツの向上を図る。	・10月12日（土）に佐藤スポーツマスター（北京五輪銅メダリスト）による高校生以下のジュニア選手を対象とした水泳教室を実施し、28名の参加があった。 ・11月16日（土）に本間スポーツマスター（元王子製紙・五輪出場）による小学生アイスホッケー教室を実施し、39名の参加があった。 ・12月8日（日）に高澤スポーツマスター（元ロッテオリオンズ・首位打者）による女子野球教室を実施し、39名の参加があった。	A (順調に実施)		・11月29日（日）にアブロス沼ノ端スポーツセンターで佐藤スポーツマスターによる高校生以下のジュニア選手を対象とした水泳教室を実施予定。 ・1月に白鳥王子アイスアリーナで本間スポーツマスターによる小学生アイスホッケー教室を実施予定。
20	イベント ・教室	子ども	氷上スポーツ育成事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	幼児を対象とした氷上スポーツ教室を開催し、遊びやゲームを通じて楽しさを体験してもらい、氷上スポーツ人口の底辺拡大と子どもの体力向上を図る。	スピードスケート教室はH30年度を6名下回る18名、アイスホッケーを指導するエンジョイスクールはH30年度を74名下回る241名の参加があった。	B (概ね順調に実施)	・スピードスケート体験教室を平成29年度より苫小牧市体育協会へ移管	実施回数をを変更して実施予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和元年度実施実績及び令和2年度実施実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施） B（概ね順調に実施） C（やや遅れて実施） D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和元年度			令和2年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
21	イベント・教室	子ども	児童の健全育成	健康こども部 青少年課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内各児童センターにおいて、健全な遊びを通して児童の運動に親しむ習慣の形成及び体力の増進を図り、また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。	H30年度を14,972人上回る7施設141,928人の来館があった。 カタキやドッジボールなどのボール運動やなわとび・一輪車などの検定を実施した。 また、活動内容や行事案内を、市のホームページに掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布した。	A (順調に実施)		ボール運動や検定を実施。 活動内容や行事案内を、市のホームページや広報に掲載し、近隣の学校へ毎月「センター便り」を配布する。
22	イベント・教室	高齢者	苫小牧市老人クラブ連合会への補助	福祉部 総合福祉課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。	7月18日(木)に苫小牧市総合体育館で開催し、H30年度を37名下回る43団体993名が参加した。	B (概ね順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
23	イベント・教室	観戦者	トップアスリートの試合開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会をつくる。	・女子ゴルフ日本ハムレディーズクラシックが7月11日(木)から14日(日)まで桂ゴルフクラブで開催された。 ・フィギュアスケート浅田真央サンクスツアーが8月10日(土)と11日(日)に白鳥王子アイスアリーナで開催された。 ・プロ野球2軍戦イースタンリーグ日本ハムファイターズvs千葉ロッテマリーンズが8月11日(日)に開催された。 ・アイスホッケーアジアリーグが9月14日(土)から開幕し、1月13日(月)まで開催された。	A (順調に実施)		・アイスホッケーアジアリーグ【10月～12月】 ・アイスホッケーアジアリーグ【1月～3月】
24	イベント・教室	観戦者	王子イーグルスとの協働事業	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケーの王子イーグルスとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興及び青少年の健全育成を図るとともに、王子イーグルスへの支援及び応援活動を推進する。	各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施した。	A (順調に実施)		各種スポーツイベントの協力及び王子イーグルスの応援活動を実施する。
25 (新)	イベント・教室	観戦者	宝くじスポーツフェア「はつらつママさんバレーボール」の開催	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	バレーボール元日本代表選手による親善試合並びに指導者クリニック、バレーボール教室を実施する。	8月24日(土)に指導者クリニックとふれあい懇親会、25日(日)にバレーボール教室、フレンドリーマッチ等を総合体育館で行い、823名の参加があった。	A (順調に実施)		なし（単年度事業）
26 (新)	イベント・教室	観戦者	青森県八戸市との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、両市で開催されるアジアリーグアイスホッケーにおいて、両チームの小学生選抜チームによる交流試合を行うことで会場を盛り上げ、互いの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。	・8月31日(土)から9月1日(日)まで苫小牧選手団29名が青森県八戸市を訪問し、アジアリーグアイスホッケーの試合前に交流試合等を実施した。 ・11月2日(土)と3日(日)に八戸選手団22名が苫小牧市を訪問し、アジアリーグアイスホッケーの試合前に交流試合等を実施した。	A (順調に実施)		中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
27	補助・助成	大人	スポーツ学校開放事業	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	小・中学校の体育館やグラウンドを市民のスポーツ活動に開放し、青少年の健全育成と地域住民のスポーツ振興を図ることを目的とする。	市内の小学校23校、中学校2校を開放し、173,837名の利用があった。	A (順調に実施)		市内の小学校22校、中学校3校を開放予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため、体育館の学校開放事業は休止中（少年団は学校使用許可により体育館での活動を再開）
28	補助・助成	子ども	大会遠征費助成金	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界のひと手をつなぎましょう	4-1 競技スポーツを支え世界で活躍する選手を育み応援	スポーツ振興を目的とした国際大会出場者と、小・中・高校生の全道・全国大会出場者について、その経費の一部を補助する。	95件15,841,238円の補助を行った。 ・国際大会 16件 660,000円 ・全国・全道大会 80件 15,181,238円	A (順調に実施)		同内容で継続実施
29	補助・助成	高齢者	70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市内に住所がある70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくりだけではなく生きがいづくりを図る。	各施設において310枚を配布している。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
30	補助・助成	町内会	町内会スケートリンク経費助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	3 次代をにぎる青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう	3-1 地域や職場等におけるスポーツへの参加を創出	町内会でのスケート振興を図るため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。	5町内会313,000円の助成を行った。	A (順調に実施)		同内容で継続実施

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和元年度実施実績及び令和2年度実施実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和元年度			令和2年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
31	利用促進	全世代	スポーツ施設利用・スポーツイベント参加者へのポイントの付与	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。	スポーツ施設13施設の利用者とスポーツイベント14事業の参加者にとまチョップポイントを付与した。	A (順調に実施)		対象を変更して実施
32	利用促進	市内競技者	既存スポーツ施設の改修	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	既存施設の改修や再整備を進め、施設の有効活用を促進し誰もが利用してみたいと思える魅力ある施設を目指す。	・緑ヶ丘公園サッカー場の照明設備を改修した。 ・白鳥王子アイスアリーナ電光掲示板の改修工事に着手した。	A (順調に実施)		白鳥王子アイスアリーナ電光掲示板と照明LED化の改修を実施した。
33	利用促進	市内競技者	スポーツ施設の一体管理	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-1 安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備	スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため指定管理者による一体管理	総合・川沿公園・日吉体育館と緑ヶ丘公園内スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター・とましんスタジアム・清水野球場・少年野球場・庭球場・サッカー場・陸上競技場）の一体管理を継続して行った。	A (順調に実施)		継続して実施
34	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿等助成	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	市外のチーム等が本市のスポーツ施設や宿泊施設を利用して実施するスポーツ合宿等に係る経費を補助する。	145件6,820,000円の補助を行った。	A (順調に実施)	・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
35	利用促進	市外競技者	スポーツ合宿の誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を推進し、本市の優位性をPRする。	2月12日から14日まで首都圏の各競技団体や企業、大学を訪問し合宿誘致活動を実施した。		・苫小牧市大会等誘致推進協議会と連携	同内容で継続実施
36	利用促進	市外競技者	全国・全道大会開催誘致活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	本市の魅力や道内外に情報発信する他、開催補助金により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致する。	7件940,000円の補助を行った。	A (順調に実施)		10月1日現在で全国1大会、全道6大会の合計7大会が開催予定であり、その内1大会が開催補助金を申請
37	利用促進	市外競技者	アイスホッケー競技NTC事業の推進	総合政策部 スポーツ都市推進課	4 世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう	4-2 スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信	国際競技力向上のために、ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、白鳥王子アイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本のアイスホッケーの競技力向上を図る。	北京オリンピックに向けた強化合宿の拠点施設としてトレーニング環境の整備を行っている。	A (順調に実施)	・平成20年度から文部科学省（現担当：スポーツ庁）より拠点指定	北京オリンピックに向けた環境の整備を実施
38	支援者育成	推進	スポーツ推進委員会活動	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種会議への参加や市主催・共催事業への協力等、スポーツ推進委員が地域スポーツの普及・推進を図るため活動を援助する。	・定例会議2回、専門部会2回実施した。 ・札幌市で開催された北海道スポーツ推進委員研究協議会に6名が参加した。 ・12月7日（土）と8日（日）に本市で胆振管内スポーツ推進委員研修会を開催し、106名の参加者が講演や各地域の事例発表のほか、実技研修としてカーリング体験を実施した。	A (順調に実施)		・定例会議2回、専門部会2回実施予定
39	支援者育成	補助	スポーツボランティアの育成	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各種スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるスポーツボランティアを募り、スポーツを通じて地域の活性化やスポーツ振興を図る。	苫小牧市体育協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントへ協力した。	B (概ね順調に実施)		同内容で継続実施
40	支援者育成	推進	苫小牧駒澤大学との連携	総合政策部 スポーツ都市推進課	2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう	2-2 民間のスポーツ事業者等と協力してスポーツ参加を促進	苫小牧駒澤大学との連携により、大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携を図り、市民のスポーツ参加を推進する。	・7月7日（日）開催の学園祭でフロアカーリングの出前講座を実施した。 ・11月8日（金）に授業内でパラスポーツの出前講座を実施した。 ・1月20日（月）から2月2日（日）までインターンシップの受け入れを通じてスポーツ振興への参加を推進した。	A (順調に実施)	・スポーツ推進委員も協力	中止（新型コロナウイルス感染拡大防止のため）
41	支援者育成	補助	アスリートフードマイスター養成支援	産業経済部 観光振興課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	スポーツ大会や合宿誘致の推進に向けた環境整備の一環として、身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援する。	10月13日（日）のとまこまいマラソンにブース出展し、アスリートフードメニューのトマトゼリー300食を試食提供し、事業をPRした。	A (順調に実施)		・苫小牧市の特産品を使ったレシピコンテストの開催及びアスリートフードマイスターセミナー動画の作成と公開を予定

苫小牧市スポーツ推進計画施策一覧（令和元年度実施実績及び令和2年度実施実績・予定）

※事業の評価 A（順調に実施）B（概ね順調に実施）C（やや遅れて実施）D（未実施）

番号	分類	対象	施策名	担当部課	目標	方針	内容	令和元年度			令和2年度
								実施実績	事業評価	備考	実施実績・予定
42	PR	大人	スポーツイベントの情報発信	総合政策部 スポーツ都市推進課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	各スポーツ施設でのイベント情報を、市ホームページや広報とまこまい等で広く発信し、スポーツへの参加を推進する。	ホームページや広報とまこまい、SNS、PR動画を作成し情報発信を行った。	B (概ね順調に実施)	・秘書広報課と連携	同内容で継続実施
43	PR	大人	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	年に1回サークルガイドを作成し、スポーツ関係団体一覧を公共施設やHP等で情報提供し、スポーツへの参加を推進する。	サークルガイドを作成した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施
44	PR	大人	保健センターを利用した運動教室・講座	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	教室・講座でのグループダイナミクスを利用した集団指導と個々の身体に合わせた個別指導を組み合わせた複合的なアプローチを図る。	10月31日時点で健康づくり教室382人、運動教室1,642人の参加があった。	A (順調に実施)	・保健センターと連携して実施	同内容で継続実施
45	PR	子ども	健康に関するイベント実施	健康こども部 健康支援課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-1 ライフステージや適性に応じたスポーツ活動を推進	9月の健康増進普及月間に健康意識の向上と健康増進のためのイベントを開催し、体力測定、健康器具の説明・実技を実施する。	・9月22日（日）に保健センター、市民会館、医師会館の3会場で「健康フェスタとまこまい2019」を開催し、約1,500名の参加があった。	A (順調に実施)	・保健センターや医師会、栄養士会等の関係団体と連携して実施	「健康フェスタとまこまい2020」を9月13日（日）に保健センター、市民会館、医師会館の3会場で開催予定
46	PR	子ども	スポーツに関する情報発信	教育部 生涯学習課	1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう	1-2 スポーツを観る人・支える人の参加拡大	子どものための行事案内を毎月作成し、市内小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布し、スポーツへの参加を推進する。	子どものための行事案内を作成した。	A (順調に実施)		同内容で継続実施